



BE THE INSPIRATION

国際ロータリー 第2570地区 第2グループ

志木ロータリークラブ

2018-19年度 国際ロータリー会長 バリー・ラシン 「BE THE INSPIRATION—インスピレーションになろう」
 2018-19年度 第2570地区ガバナー 茂木 正 「想いを繋ぎ地域と国の発展に奉仕する」
 2018-19年度 志木RC会長 林 康雄 「凛として挑む 一 衆の目的を目指し」

第2264回 例会

2019-1-23

- ◎司会 高橋健一郎 副会長
- ◎点鐘 林 康雄 会長
- ◎ソング 手に手つないで
- ◎ソングリーダー 内山雄二郎 会員
- ◎四つのテスト 内山雄二郎 会員
- ◎ゲスト 根岸 和美様 (卓話者・秩父RC)
- ◎ビジター 今泉 学之様 (秩父RC)

この冬一番の冷気が日本列島を覆う予想です。関東地方では、外気温度が冷え込んだときに、南岸低気圧が接近するとドカ雪が降ることがありますので今後要注意かもしれません。

さて、1月は「職業奉仕月間」ということで、第一例会に会長の時間としてシェルドンの研究者と言える田中毅 PG の論文を引用した「職業奉仕の理念」の話をして頂きました。私の話が冗長過ぎたため返って分かりにくい内容になってしまったと反省しております。そこで、今回は「職業奉仕」を語るときに引用される逸話を紹介して理解を図りたいと思います。

世界的な玩具メーカーであり、プラスチック製のカラフルなブロック玩具「レゴ」で有名な会社の創業時の話です。当時の代表的な商品は、ブナ材で作られたアヒルの玩具であったそうです。ニスを三度塗りした品質の高いものでした。自分の息子がある晩戻って来て言いました。「お父さん、今日はいい日だったんだ。」創業者の父が「それはどういうことだい」と聞くと、息子は「生協に納品するアヒル二箱、駅まで届けてきたところなんだけど、いつもニスを3度塗りするところを、今回は生協なので2度だけにしてコストを少し削減したんだよ」と答えました。すると父は失望した様子で、次のように言いました。「息子よ、その箱を今すぐ取り戻し、中のアヒルを全部取り出して3度目のニスを塗りなさい。それが済むまで寝てはいけない。そしてすべ

「会長挨拶」

会長 林 康雄



1月20日は、二十四節気の大寒でした。1月6日の小寒から2月3日の節分にかけてが、寒さの厳しい時期となりますが、中でも、大寒は「冷ゆることの至りて甚だしきときなれば也」と言われ、寒の真中で一年で最も寒い時期にあたります。しかし、今年は大寒と言われてもピンと来ない程の暖かさが続いています。むしろ、関東南部では降水量ゼロの日が記録的に続き、乾燥注意報が発令されてインフルエンザの流行や火災の発生が心配されています。天気予報によると、今週末には

てお前一人でやりなさい」と、父親は断固とした口調で命じたそうです。ご存知のとおり、レゴ社は現在世界最大級の玩具メーカーとして君臨しており、世界中の子供達がレゴブロックで遊ぶ時間を合計すると年間 50 億時間に達する程になっているそうです。

“The Four Way Test” 「四つのテスト」は、職業人としてのロータリアンの心構えを、一般の職業人にも理解できるように、簡潔かつ的確にまとめたものと言われています。「四つのテスト」の発案者ハーバート・テラーは、経済不況の煽りを受けて倒産に瀕していたクラブ・アルミニウム社の社長に就任します。景気は冷え込んでいるし、社員の勤労意欲も落ち込んでいました。彼はこんなときこそ、全員が倫理的なターゲットを掲げて、正しい営業活動を行えば、必ず会社が再建できることを実証するために、画期的な経営管理の指針を考え出しました。それは、会社の誰もが憶えられて、我々が関わる他人に対して、我々が考えたり、言ったり、行動したりするときに応用できる、ある種の道徳的な指標を 24 語の言葉に書き留めた「四つのテスト」でした。

テラーが「四つのテスト」を社員に提示したその日に、「世界で最も優れた調理器具」と書かれた広告の校正刷りが、社長である彼の机に届きました。彼は、そのことを証明することは出来ないし、真実でもないと言って、広告担当のマネージャーを呼び、すべての「最高」とか「よりよい」とか「最もよい」とか「最も見事な」のような単語を使うことをやめて、製品について事実だけを述べることを命じました。それから 2 か月経って、会社が収益を上げ始めた頃、全社員にこれを全ての職場で適用することを了解させました。従業員達は印刷されたその文章を手にしなが、それぞれの職場でそれを実行し始めたのです。その後、クラブ・アルミニウム社は業績改善を続け、5 年で借金利子を完済し、15 年後には、株主に多額の配当を分配するようにな

ったそうです。

「職業奉仕」とは自分の職業について、利益の優先だけでなく自分の職業を通じて社会、顧客、従業員に奉仕することを第一に考えて経営運営することが、結果として継続的に利益を得ることに繋がるという考え方であったと思います。この考え方は業界全体の職業倫理の向上にも繋がり、つまるところ「職業奉仕」の実践の受益者は、ロータリアン本人であるといった因果応報の考え方かと思ひます。

「幹事報告」

幹事 市之瀬正靖



1. 地区事務所より 3 件受信

①地区ホームページ (www.rid2570.gr.jp) への社会奉仕部門活動報告掲載及び更新のお願い

②米山記念奨学生終了式及び歓送会の案内
日時：3月3日(日) 受付 15:30
場所：川越東武ホテル

③派遣年度 2020 年 7 月 1 日～2021 年 6 月 30 日ロータリー財団「海外派遣」奨学生募集ポスター掲示の願い

2. 国際ロータリー第 2580 地区ガバナー事務所より、韓国・大邱市での「第 20 回 RI 囲碁大会」の案内受信

「委員会報告」

●青少年奉仕委員会 委員長 田中幸彦

志木市青少年育成市民会議・

青少年非行防止講演会の開催について

日時：2月6日(水) 10:00～11:30 受付 9:30

出席は会員の義務です。メイクアップを忘れずに！

第2グループ各RC 例会日・会場一覧

■朝霞 RC (火) 12:30～ 埼玉りそな銀行朝霞支店 ■和光 RC (月) 12:30～ 郵便事業(株)和光支店3F
■新座 RC (木) 12:30～ ベルセゾン ■志木柳瀬川 RC (木) 19:00～ ふれあいプラザ会議室(丸井8F)



場所：志木市民会館パルシティ 1階 103 南北
内容：「インターネットとの付き合い方、
地域住民の責務について考えます」
後嗣：NPO 法人地域教育ネットワーク
代表理事 筈松直美様



値観が求められていますが、時代が変わっても不変であるのは「人が宝」という事です。その「人」の力を十分に引き出す為の「関わり方改革」を「ほめる視点」で進める事を広めたいと考え、お伝えさせていただきました。

又、時代に即してロータリークラブが柔軟に進化してきたことの証しとして、秩父クラブで3年前に私が「初の女性会員」として迎えられた経緯をお話し申し上げました。男女の区別なく、職業を通した奉仕の精神に満ちた仲間との活動に誇りを持っております。

貴クラブの今後益々のご発展をお祈り申し上げ、志木と秩父、クラブ同士の交流の絆が深まることを期待しております。

「卓話者紹介」

國分 学 会 員



「卓 話」

「新しい時代の『関わり方改革』」

一般社団法人 日本ほめる達人協会 特別認定講師
学校法人橘学園 秩父ふたばこども園 副理事長
秩父 RC 根岸和美様

平成の有終を飾るこの新春に、志木ロータリークラブでの卓話を承り光栄に存じます。

私は埼玉県秩父市で学校法人の運営に携わっております。その経営の中で「承認から生まれるコミュニケーション」を活用する事で沢山のご縁に恵まれ今日に至っております。

御代がわりの今年、様々な局面で新しい価



例会は変更になる場合があります。ご確認下さい。

第2グループ各RC 例会日・会場一覧

■富士見 RC (金) 12:30～ 島田ビル1F

■新座こぶし RC (水) 12:30～ ベルセゾン

■朝霞キャロット RC (月) 19:00～ シティ・イン北朝霞 3階ホール

「本日のお客様」



ビジター 今泉学之様(秩父RC)



●出席報告 出席向上 委員 神山昌之

会員数44名 出席義務者35名 免除者9名

本日出席	本日欠席	本日出席率
37名	3名	92.50%

前々回 MU	前々回修正出席率	平均出席率
(5名中1名)	90.47%	94.17%